

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (東広島市立吉川小学校)

- ① 教科等 総合的な学習の時間 ② 学年 第4学年
- ③ 単元名 「出動！吉川自然調査隊」
- ④ 本時の目標 調べたことを交流し、自分の調べたことと関連付けて考えることを通して考えを深め、次の課題を決めることができる。
- ⑤ 学習の流れ (26時間目/全50時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・考える際の手がかりとなるこれまでの活動や計画表を掲示しておく。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ミニ交流会を開いて、次のなぞを見つけよう。</div>		
2 ミニ交流会をする。	<ul style="list-style-type: none"> ●生き物グループ→自然の恵み・人と自然に優しい環境のあり方 ●水質グループ→地域の人々の取り組み ●浄化グループ→自然の力のすごさ・汚さない工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・発表するときには、調べて分かったこととみんなに伝えたいことを話すようにさせる。 ・大切なことは、ワークシートにメモを取っておくようにさせる。 ・友だちの調べたことを自分の考えや既習事項・体験などと比較・関連させながら聞くようにさせる。 	
3 交流会の内容から関連があるところを見つけ、話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">みんなの発表の中で、つながりがあるところを見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのメモと、これまでの活動を踏まえて関連付けて考えさせる。 ・「自然を守る人々の工夫(ひと)」「地域の自然の現実やすばらしさ(もの、こと)」「自分たちにできること(自分)」といった観点で共通点を整理させる。 ・どのような観点で関連があると考えたか説明させる。 ・共通点を見つけ、そこから思考を深めさせていく。 	
4 これから調べていきたいことを決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守るために地域の方が行っている活動なども知らせ、新しい視点での課題作りができるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたこととこれまでの活動を関連付けて考え、新しい課題を決めることができる。 〔他者や社会とのかかわり〕 (発言・ワークシート)

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- さまざまな情報を比較・関連させるといった視点をもって分析・考察し、友だちとかかわりながら話し合うことで、見方や考え方を深め、新しい課題を設定することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 比較・関連させて考えるという視点を与えて、情報を分析させる。
- 自分の考えを明確にさせるために、ワークシートを工夫する。